

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【公表番号】特表2010-540101(P2010-540101A)

【公表日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-051

【出願番号】特願2010-527102(P2010-527102)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マトリクス中に分散するエラストマー相を含むポリマー複合物から少なくとも部分的に製作されたステント体であって、

前記複合物は、ガラス状マトリクスポリマーにブレンドされたブロックコポリマーを備え、

前記ブロックコポリマーはエラストマー状ホモポリマーブロックとガラス状ポリマーブロックとを含み、

前記エラストマー相は前記エラストマー状ブロックを含み、

前記マトリクス相は前記ガラス状マトリクスポリマーと前記ガラス状ポリマーブロックとを含み、

前記エラストマー状ブロックは、生理学的条件下において前記ガラス状ブロックおよび前記ガラス状マトリクスポリマーよりも韌性が高い、

ステント体。

【請求項 2】

前記エラストマー状ホモポリマーブロックは P C L、P T M C、P H B、および P D O からなる群より選択され、

前記ガラス状ブロックは P L L A および P L G A からなる群より選択される、

請求項 1 に記載のステント体。

【請求項 3】

前記 P L L A ガラス状ブロックは 2 0 k g / m o l から 2 0 0 k g / m o l の間の分子量を含む、

請求項 2 に記載のステント体。

【請求項 4】

前記ガラス状ブロックは体温よりも高い T g を有するとともに、前記エラストマー状ブロックは体温よりも低い T g を有する、

請求項 1 乃至請求項 3 の何れか 1 項に記載のステント体。

【請求項 5】

前記エラストマー状ホモポリマーブロックは前記ガラス状マトリクスポリマーよりも分解速度が速く、

前記エラストマー相の分解により前記ステント体の分解期間は減少する、  
請求項 1 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載のステント体。

【請求項 6】

前記エラストマー相が前記ステント体の靱性を増加できるように、前記ブロックコポリマーは前記マトリクスと前記エラストマー相との密着性を増加させる、  
請求項 1 乃至請求項 5 の何れか 1 項に記載のステント体。

【請求項 7】

前記複合物は、前記エラストマー状ブロックと同一の組成を有するエラストマー状ポリマーをさらに含み、  
前記エラストマー相の大部分は前記エラストマー状ポリマーを含み、  
前記ブロックコポリマーは前記エラストマー相と前記マトリクスとの間の相溶化剤として作用する、  
請求項 1 乃至請求項 6 の何れか 1 項に記載のステント体。

【請求項 8】

前記ガラス状マトリクスポリマーおよび前記ガラス状ブロックは P L L A を含み、  
前記エラストマー状ブロックは P C L、P T M C、P H B、および P D O からなる群より選択される、  
請求項 1 乃至請求項 7 の何れか 1 項に記載のステント体。